

## 未利用材による 木質バイオマス発電を始める

もりやま まさみ  
森山 政美さん(61)



# ひと

「郷土の基幹産業の再生に貢献したい」との強い思いから発電事業に参入。未利用材を燃料とする県内初の木質バイオマス発電所を日田市天瀬町に建設している。

再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度を活用し、11月から稼働を始める計画だ。

「山に放置された残材や間伐材を有効利用することで、低迷する林業の活性化や

## 林業の活性化目指す

雇用促進を図り、日田をはじめ大分県全体を元気にできたら」

日田林工高校林業科を卒業後、大阪で林業関係の企業に就職。転職し、建設業界に約20年いたが「公共工事だけでなく、福祉や環境の仕事をした」と一念発起して脱サラ。1998年に環境リサイクル機械販売の「モリショウ」を日田市につくった。

現在は木質バイオマス発電所向けに燃料を供給する「日本フォレスト」(旧・九州ウッドマテリアル)も経営。未利用材のバイオマス発電事業は、社長を務めるグリーン発電大分が行っていく。

趣味はピアノ、電子オルガン、サクソホンなど楽器演奏。好きな言葉は中学生のころから「克己心」。

市内の自宅で妻と2人暮らし。(岩本聡)